

平成 23 年 3 月 14 日
市立堺病院事務局

災害派遣医療チーム（市立堺病院 D M A T）の活動状況について

東北地方太平洋沖地震の救援のために、市立堺病院から災害派遣医療チーム（市立堺病院 D M A T）として 6 名（医師 2 名、看護師 2 名、医療技術者 1 名、事務職員 1 名）を派遣しました。

13 日には、いわて花巻空港において、S C U (Staging Care Unit=広域搬送医療拠点)の任務を行いました。S C Uは、広域搬送拠点に設置する搬送患者待機のための臨時医療施設です。症状安定化のための処置を行うとともに、傷病者の状況に合わせて広域搬送の必要性を判断し、搬送のための調整などを主な業務としています。

市立堺病院 D M A Tは、S C Uの中で本部業務を行い、隊長の医師が S C Uの統括の任に当たりました。

なお、詳細な活動状況は、以下のとおりです。

平成 23 年

3 月 11 日	夕方	派遣要請を受け堺病院内に参集、待機
	22:25	阪大病院に移動。ミーティングを行い待機指示
3 月 12 日	14:20	大阪国際空港（伊丹空港）から自衛隊機でいわて花巻空港へ
	16:00	花巻空港到着。S C U活動を行うため待機
3 月 13 日	07:00	花巻空港にて S C U活動開始
	12:00	10 名の傷病者に対応。5 名を東北大病院等へ搬送
	14:45	北海道などへの広域搬送に向け調整
	22:00	活動終了。広域搬送 6 名、域内搬送 43 名、合計 49 名に対応
3 月 14 日	07:30	花巻空港 S C U活動をサポート
	11:30	3 名の被災者に対応
	夕刻	任務終了。陸路にて帰阪予定